

内閣府 蓮舫大臣部局 政務三役会議 議事概要
(蓮舫大臣、平野副大臣、園田大臣政務官)

日時：平成23年1月11日(火) 16:32～17:55

場所：蓮舫大臣室

議題：○今後の進め方について

○無駄の根絶について

- ・国丸ごと仕分け（行政事業レビュー）
- ・特別会計制度改革フォローアップ
- ・独立行政法人改革
- ・政府系公益法人の改革
- ・政府調達改革

○公務員制度の抜本的改革について

○規制・制度改革について

○オープンガバメントの推進について

○官民の新たな役割分担について

主な議論の内容：

(部局共通)

○政務三役会議の今後の進め方について、園田大臣政務官より、週一回の定例会議の他、中長期的な課題等を討議するため、四半期に一回程度、次官・官房長、全ての部局長の出席を得て開催する旨の報告があった。

(無駄の根絶)

○国丸ごと仕分け（行政事業レビュー）について、その実効性を更に確保する観点から解決すべき課題等の報告があった。

○特別会計制度改革について、特別会計の制度見直しの検討状況をフォローアップし、平成24年の通常国会への法案提出を目指すこと等の報告があった。

○独立行政法人改革について、全独立行政法人の事務・事業の見直し結果を踏まえ、個別の法人の在り方を検討すること等の報告があった。

○政府系公益法人の改革について、公益法人に行わせている事業や権限、不要資産等の見直しを実施し、公益法人に対する指導監督を強化・徹底すること等の報告があった。

○政府調達改革について、公共サービス改革の一環として、政府による物品、サービス等の調達の効率化を推進すること等の報告があった。

(公務員制度の抜本的改革)

○一人一人の職員が、その能力を高めつつ、国民の立場に立ち、責任を自覚し、誇りを

持って職務を遂行することとするため、国家公務員制度改革を総合的に推進すること等の報告があった。

(規制・制度改革)

- 規制・制度改革について、時代や環境の変化への対応、政策目的に合致した政策手段の採用等の観点から、グリーン・イノベーション、ライフ・イノベーション、農林業を含む地域活性化及びアジア経済戦略を含む経済戦略などの分野で規制・制度の不断の見直しを行う旨の報告があった。

(オープンガバメントの推進)

- 情報公開、公文書管理など、開かれた行政の実現のための基盤を整備する旨の報告があった。

- 情報公開・個人情報保護に係る不服申立ての審査について、国民の権利利益の迅速な救済が図られるよう、着実にその任務を果たす旨の報告があった。

(官民の新たな役割分担)

- 官民の新たな役割分担について、PFI事業、公共サービス改革、新公益法人制度への移行を推進することにより、官と民の垣根を超えて新しい視点でその役割を問い直す旨の報告があった。

以上